



平成20年度  
**事業報告書**

財団法人にいがた産業創造機構



## 平成20年度 財団法人にいがた産業創造機構事業報告

平成20年度の本県経済は、年度前半は原油・原材料価格の高騰により生活必需品を中心に物価が大幅に上昇したことから、個人消費が低迷するなど家計部門に弱さがみられました。さらに、秋口から年末にかけて世界経済が大混乱し、輸出が世界規模で減少したこと等から、生産が過去最大級の落ち込みとなり、併せて雇用調整の動きが幅広い業種で進むなど、急速な景気悪化の影響が異例のスピードで本県にも波及しました。県内経済は、年度を通して厳しさを増し、後退色を強めました。（「新潟県の経済動向（2009.3.13）」）

このような状況の下、財団法人にいがた産業創造機構（以下「NICO」という。）は、第2期中期計画期間の最終年度にあたる平成20年度において、明日の新潟を支える産業人材の育成も含め、創業・新分野進出・経営革新のための基盤作りに取り組みました。そして、付加価値の高い商品づくりなどに意欲的に取り組む企業に対して、企画開発から市場開拓まで一貫した支援を展開しました。また、市場ニーズに応える高度な技術開発などの促進や高付加価値化に向けた産業の強化と「新たな成長産業の育成」に取り組んでまいりました。

その結果、中期目標については達成できたところです。

NICOは、緊急経済対策として、県内経済と雇用を支える中小企業が、厳しい業況を乗り越え、将来を見据えた新たな成長を果たすことができるよう各種支援事業の助成率の引き上げや販路開拓支援事業の拡充などを図るとともに、企業経営の安定化のために、経営課題の解決にきめ細かく対応するワンストップの支援体制をさらに充実し、企業の積極的な取り組みを促進することとしました。

今後とも、これまでの活動実績や蓄積したノウハウ、さらに付加された広範な機能を収斂・定着させ、使命の実現に向けて全力をあげて取り組んでまいります。

## I 財団の運営

### 1 理事会／評議員会の開催状況

○第1回理事会／評議員会（平成20年6月18日 万代島ビル11階会議室）

- ・平成19年度事業報告について
- ・平成19年度決算書について
- ・平成19年度の資産の運用実績について
- ・平成20年度の資産の運用計画について
- ・評議員／役員の選任について

○第2回理事会／評議員会（書面表決 平成20年11月28日議決）

- ・平成20年度収支補正予算について
- ・評議員／理事の選任について

○第3回理事会／評議員会（平成21年3月25日 万代島ビル6階会議室）

- ・平成20年度収支補正予算について
- ・県産品振興基金の処分及び寄付について
- ・平成21年度事業計画について
- ・平成21年度収支予算について
- ・設備購入資金及び設備資金貸付金の借入について
- ・評議員／役員の選任について

### 2 企画運営委員会の開催状況

○NICO企画運営委員会（平成21年3月27日 万代島ビル6階会議室）

- ・平成20年度の取組について
  - ① 中期目標の達成状況
  - ② 重点事業等の進捗状況
- ・平成20年度 企業支援事例
- ・NICO緊急経済対策
- ・NICO平成21年度重点事業

## II 第2期中期目標（平成19年度～平成20年度）の達成状況

### 1 創業・経営革新の促進に関する目標

| 項目             | 指 標                            | 中期目標        | 実 績                              | 達成率    |
|----------------|--------------------------------|-------------|----------------------------------|--------|
| (1) 創業・新分野進出企業 |                                |             |                                  |        |
|                | 新規創業や既存産業からの第二次創業、新分野進出等を行った企業 | 100         | 107                              | 107.0% |
| (2) 育成・支援企業    |                                |             |                                  |        |
|                | 育成・支援した企業等                     | 1,000       | 1,334                            | 133.4% |
| (3) 利用企業等      |                                |             |                                  |        |
|                | NICOを利用する企業等                   | 15,000      | 22,441                           | 149.6% |
| (4) 支援企業の評価度   |                                |             |                                  |        |
|                | 利用企業等                          | 毎年<br>75%以上 | 87.5% (平成19年度)<br>93.0% (平成20年度) |        |

参考) 県産品の販路拡大

| 指 標               | 中期目標 | 実 績 | 達成率    |
|-------------------|------|-----|--------|
| 新規商品アイテム数新規の発掘・育成 | 100  | 117 | 117.0% |
| 物産展の新規出展件数        | 10   | 17  | 170.0% |

### 2 次代をリードする産業群の創出に関する目標

| 項目                         | 指 標                  | 中期目標 | 実 績 | 達成率    |
|----------------------------|----------------------|------|-----|--------|
| (1) 健康・福祉・医療関連ビジネスの創出      |                      |      |     |        |
|                            | クラスター形成の核となる企業       | 10   | 12  | 120.0% |
| (2) 「超高压」技術関連の“標準化”による市場創造 |                      |      |     |        |
|                            | ネットワークに参画する企業・研究者    | 80   | 83  | 103.8% |
| (3) マグネシウム合金加工関連産業の育成強化    |                      |      |     |        |
|                            | 技術確立の研究開発の新規取組の発掘・育成 | 10   | 10  | 100.0% |
| (4) 戦略的産業人材の育成             |                      |      |     |        |
|                            | 県内企業のシステム開発受注新規      | 30   | 32  | 106.7% |
| (5) 「百年物語」ブランドの構築          |                      |      |     |        |
|                            | 商品アイテム数新規            | 30   | 58  | 193.3% |

### Ⅲ 事業報告

#### 重点事業等の取り組み状況等

##### ○モノづくり革新人材形成事業の取り組み

機械・装置の開発設計者育成を目的に「長岡モノづくりアカデミー～開発設計コース～」を引き続き実施した。また、モノづくりアカデミーの成功をベースに、企業の競争力強化に資する新規プログラムの開発・試行・実施等を行う革新人材群形成事業に着手した。初年度は企業ヒアリングを行って、人材育成ニーズを把握し、能力開発の方向性を見極めに取り組んだ。

##### ○食品産業マーケティング支援事業の取り組み

県産加工食品の開発から流通までを総合的に支援するため、専門家による相談や「売れる食品づくりサポート会議」等を通じて、商品のブラッシュアップや首都圏におけるプロパー商品として定着を目指し、“売れる食品づくり支援”や「流通向け商談会」、「テストマーケティング」等の“市場開拓支援”に取り組んだ。

##### ○新潟県地域結集型研究開発プログラムの本格的な取り組み

平成 20 年 1 月にスタートした「新潟県地域結集型研究開発プログラム」(JST 委託事業)として、「食の高付加価値化に資する基盤技術の開発」の取り組みを進めるため、大学等 9 機関、公設試験機関 4 機関及び 22 企業の参加を得て、共同研究活動体制の構築を図り、高压技術による食品加工に関する学術的成果発表、商品開発及び技術の安全評価のための高压装置の試作等を行った。

平成 24 年 12 月まで、高压技術を核とした食品加工技術や高压装置の開発を進める。

##### ○にいがた産業夢おこし基金事業の取り組み

産業の高付加価値化を図ることを目的として平成 19 年 6 月に創設をした「にいがた産業夢おこし基金」を活用し、中小企業の技術開発や経営革新の促進を図った。

- ・わざづくり助成事業（わざづくり、かんばんづくり、スーパーわざづくり） 29 件実施
- ・地域技術基盤高度化支援事業（市場開拓技術構築事業、産業基盤形成支援事業） 2 件実施

##### ○チタン合金の革新的加工技術開発（新市場チャレンジプロジェクト）の取り組み

航空機産業に参入するためのコア技術となるチタン合金の複雑形状品の革新的新加工技術を開発するとともに、品質管理体制の整備やマーケティング支援などの事業を実施し、航空機市場への参入を支援するプロジェクトをスタートさせ、平成 20 年度は高速切削加工技術の事業体制づくりを推進した。（市場開拓技術構築事業）

## 1 創業・新分野進出・経営革新の基盤作り

### (1) 支援体制整備

新事業育成メンターやアドバイザーを中心とした、各分野の専門家からなるブレンネットワークを活用して、企業に対するきめ細かな助言・指導、事業計画の評価などを実施した。

また、新たに国より「地域力連携拠点事業」を受託し、地域資源活用や農商工連携等の支援を行った。

このほか、県内の産業支援機関とのネットワークを維持・拡大し、相談案件の発掘などに取り組んだ。

#### ①ブレンネットワーク活用

経営・マーケティング等の知見に富む外部人材のネットワークを活用し、中小企業からの様々な相談に対して適切な助言やコーディネートを行ったほか、中小企業の経営革新や創業の計画・取組に対する評価・指導を実施した。

○支援会議（開催日数 23 日）における評価・指導件数 172 件

○新事業育成メンター・アドバイザー等による相談 254 社（502 件）

#### ②専門家等派遣事業

NICO に登録している外部専門家を継続的に派遣し、中小企業が抱える様々な課題の解決に向けた適切な診断・助言を行った。また、利用者の利便性向上のため速やかな派遣対応を行った結果、派遣した企業は 49 社（227 回）となった。

#### ③関係機関連携事業

県内の商工会・商工会議所などの支援機関や自治体との連携を強化し、相談案件の掘り起こしに努めたほか、全国の支援機関等との情報交換や事業の活用などに努めた。

○県内支援機関との連携

- ・新潟県信用保証協会との連携保証（ニコット I・II）の実施

新潟県信用保証協会との提携による信用保証制度で、「ゆめ・わざ・ものづくり支援助成金」、「にいがた・ニュー・エジソン育成助成金」に加え、「建設企業新分野進出等支援助成金」の交付決定を受けた中小企業者も対象として実施した。

- ・地域での NICO 事業説明会等の開催・講師の派遣

市町村や商工会・商工会議所等の支援機関、金融機関等の開催するセミナーなどにおいて、NICO 事業等の説明などのために職員を派遣した。

回数 40 回、延べ参加者数 1,144 名

- ・関係機関との共同開催事業

NICO&imaon 公開セミナー・ミニ展示会（平成 21 年 2 月 3 日、参加者 60 名）

糸魚川ものづくりネットワークとの共催でセミナーを開催した。

- ・新潟県新事業支援機関連絡協議会の開催（平成 21 年 3 月 16 日）

県内の産業支援機関の支援策等の情報交換を行い、連携を強化することを目的とした会議を開催

○中小企業基盤整備機構等との連携

- ・「地域力連携拠点事業」を中心に中小企業基盤整備機構と連携して企業支援を行った。
- ・NICO 内に配置の中小企業基盤整備機構担当との連携による「異業種連携新事業分野開拓（新連携）」の取組促進

#### ④起業化支援・交流拠点施設管理事業

県施設「起業化支援・交流拠点施設（NICO プラザ）」の管理運営を指定管理者として県から受託し、主に情報通信産業等における創業者を育成・支援するための創業準備オフィスのほか、会議室などの管理運営を行った。

#### ⑤特許アドバイザー活用事業

特許流通アドバイザー・特許情報活用支援アドバイザー・特許流通アシスタントアドバイザーを配置して、知的財産に関する様々な情報提供や特許契約等に関する助言を行うとともに、中小企業経営者や技術者の特許情報の活用を促進した。

- ・特許流通アドバイザーの活動：企業訪問 250 件、成約件数 9 件
- ・特許情報活用支援アドバイザーの活動：来訪指導 151 件、訪問指導 139 件、講習・講演会 29 件、普及啓発 113 件
- ・特許流通アシスタントアドバイザーの活動：企業訪問 89 件

#### ⑥インキュベートセンター（NARIC）運営事業

起業家や研究開発型企業を支援するため「長岡リサーチコア・インキュベートセンター（NARIC）」の貸室を低廉な料金で賃貸するとともに入居者確保のため、NARIC 施設案内パンフレットを作成した。

- ・入居企業数：5 社（6 室）/ 全 11 室中
- ・入居者の確保：掲示板パネル作成、施設案内パンフレット作成

### （2）ビジネス情報提供

タイムリーなテーマ設定での各種セミナーや実践的な連続講座の開催により、企業の新たな取組を促進するとともに、ホームページ、機関誌「NICO プレス」、メールマガジンなどを活用して役立つビジネス情報等の発信を行った。

#### ①セミナー等開催事業

○セミナーの開催

- ・NICO&imaon 公開セミナー・ミニ展示会（平成 21 年 2 月 3 日、参加者 60 名）

- ・地域資源活用セミナー（平成 20 年 12 月 16 日、17 日、参加者 128 名）

○講座の開催

- ・クレド：企業理念を活用した業績アップ講座（平成 20 年 10 月 7 日、参加者 23 名）
- ・ビジネスモデル分析・再構築講座（基礎編 平成 20 年 6 月 10 日、参加者 23 名）  
（上級編 平成 20 年 7 月 8 日、参加者 10 名）
- ・顧客開拓の仕組み徹底公開講座（平成 20 年 8 月 5 日、参加者 27 名）
- ・まるごとコミュニケーション塾（1 クール 4 回、参加者 10 名）
- ・実践！ 広報力パワーアップ講座（延べ 5 回、参加者計 39 名）
- ・実践！ 広報力パワーアップ講座&The まるコミ塾アフターフォーラム  
（平成 21 年 3 月 6 日、参加者 22 名）

## ②NICOクラブ運営事業

当機構の目的・活動に賛同する者で構成する会員制クラブを運営し、会員に対しては機関紙 NICO プレスの送付やセミナー開催等を通して、企業経営に役立つ情報の提供や会員相互の情報交換を行うとともに、会員の拡大に努めた。

○会員数 976 人（平成 21 年 3 月末現在、前年度比 52 名増）

○クラブセミナーの開催（4 回、参加者計 481 人）

○研究会・勉強会活動の支援

実践！ 広報力パワーアップ講座（全 5 回開催、うち会員限定開催 2 回、参加者計 13 名）

○環境ビジネス勉強会&個別相談会の開催

- ・キックオフセミナー（平成 20 年 7 月 28 日、参加者 65 名）
- ・環境ビジネス無料相談会の開催（平成 20 年 9 月 4 日、5 日、参加者 19 社）
- ・環境ビジネス勉強会（全 5 回、参加者延べ 44 名）
- ・環境ビジネス個別相談会（全 3 回、参加者延べ 9 社）
- ・環境ビジネス個別相談会参加者合同企業視察（平成 21 年 2 月 18 日、参加者 6 社 8 名）

○NICO クラブホームページのリニューアル（平成 21 年 1 月）

## ③情報受発信事業

企業活動に有用な情報（技術開発、市場動向、販路拡大など）を効果的に発信し、企業経営を支援するとともに、NICO の支援事業の利用促進を図るため、NICO の活動内容や支援企業の取組を県内外に向け広報した。

○マスコミへのニュースリリース件数：68 件

○リリースによる掲載回数 132 回

○マスコミ掲載件数：474 件

○機関誌 NICO プレス、パンフレット等の自主媒体による情報発信

○NICO クラブホームページのリニューアル

○NICO 事業の新聞広告：17 回

○メールマガジンの配信：48 回

### (3) 戦略的産業人材育成

県内産業の競争力強化を目指し、独創的な新商品・新技術開発により企業業績に貢献できる産業人材の育成に取り組んだ。

#### ①高度 IT 人材育成事業

○エンタープライズ系技術者育成研修

合計 45 コースの高度 IT 人材育成研修を実施、受講者数は 63 社 461 名であった。

| コース名                  | 実施数 | 総定員 | 申込者数 | 修了者数 | 稼働率* |
|-----------------------|-----|-----|------|------|------|
| プロジェクト マネージャー育成コース    | 9   | 135 | 120  | 115  | 89%  |
| IT スペシャリスト育成コース       | 21  | 315 | 196  | 195  | 62%  |
| アプリケーション スペシャリスト育成コース | 14  | 210 | 136  | 135  | 65%  |
| コンサルティングセールス育成コース     | 1   | 15  | 16   | 16   | 107% |
| 計                     | 45  | 675 | 468  | 461  | 69%  |
| ライブ研修(IPA 主催)         | 19  | 285 | 169  | 160  | 59%  |

\*稼働率:申込者数/定員

○組込みシステム開発技術者研修

合計 5 コースの研修を実施、受講者数は 19 社 62 名であった。

| コース名          | 実施数 | 総定員 | 申込者数 | 修了者数 | 稼働率* |
|---------------|-----|-----|------|------|------|
| 組込みソフト技術 基礎   | 1   | 24  | 9    | 9    | 38%  |
| 組込みソフト技術 実践   | 1   | 18  | 27   | 26   | 150% |
| 組込みソフト技術 中級   | 1   | 18  | 14   | 12   | 78%  |
| 要素技術コース(RTOS) | 1   | 24  | 7    | 6    | 29%  |
| システム開発演習      | 1   | 24  | 9    | 9    | 38%  |
| 計             | 5   | 108 | 66   | 62   | 61%  |

\*稼働率:申込者数/定員

#### ②モノづくり革新人材群形成事業

○高付加価値型の産業創出に取り組むため、企業における機械・装置の開発設計の中核となる人材の育成をねらいとして「長岡モノづくりアカデミー～開発設計コース～」を実施した。

受講生：22 名（定員 20 名）、受講料：15 万円

カリキュラム：

講義（専門基礎 3 科目 6 時間、専門 15 科目 32 時間）

実習・演習（CAD18 時間、CAE9 時間、リバースエンジニアリング 10 時間、インターンシップ 25 時間）

その他（技術懇談 6 時間）、延べ受講時間 106 時間

受講率：90.9%（皆勤 10 名）

○高度な設計解析手法であるC A E手法の活用により、付加価値の高いモノづくりに挑戦できる地域企業の人材育成をねらいとして、「3次元C A Eエンジニア育成プロジェクト」のカリキュラム開発と実証講座を実施した。

(高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業、関東経済産業局委託事業)

受講生：21名 受講料：実証のため無料

開発カリキュラム：

3次元設計概論2時間、精度設計9時間、強度設計6時間、機構設計6時間

基礎公差解析実習6時間、基礎C A E（強度解析8時間・機構解析8時間）

リバーエンジニアリングによる総合シミュレーション実習28時間

ケーススタディによる総合シミュレーション実習14時 延べ受講時間87時間

受講率：95%

○企業の競争力強化に資する新規プログラムの開発・試行・実施

一年目の取組として企業ニーズヒアリングを実施し、人材育成ニーズを把握した。

## 2 創業・新分野進出・経営革新の促進

### (1) 創業・経営革新支援

創業や新技術・新商品の開発等に関する経費の一部を助成するほか、専門家による助言・指導等により、創業や新分野進出、事業の高付加価値化の取組を支援した。

#### ①創業チャレンジ応援事業

##### ア にいがた・ニュー・エジソン育成事業

独創的な技術やアイデアをもとに県内で創業しようとする起業家に対して、創業期に必要な経費の一部を助成した。

|   | 採択企業名                        | 所在地  | テーマ  | 認定   |
|---|------------------------------|------|--|------|
| 1 | ザンシン(株)<br>代表取締役 箱田 元紀       | 新潟市  | インターネットメディアの企画、構築・運用と、既存マスメディアの広告制作                        | 新規   |
| 2 | 新生電子(株)<br>代表取締役 渡部 茂信       | 燕市   | 新しい技術力で自然災害から人命を守る！気象観測機器の開発事業                             | 新規   |
| 3 | (株)グローバルシチズン<br>代表取締役 三本さやか  | 加茂市  | 新潟国際人財育成支援事業（留学生就職斡旋、留学支援、留学促進事業）                          | 新規   |
| 4 | コママーケティング(株)<br>代表取締役 今井 進太郎 | 新潟市  | 子育て世帯会員組織「トキっ子くらぶ」を活用したマーケティングビジネス                         | 2年度目 |
| 5 | (株)ふれしやす<br>入澤 恵             | 小千谷市 | 泳ぐ宝石“日本の国魚”錦鯉発祥の地 小千谷錦鯉の Web 販売及び店舗販売                      | 2年度目 |
| 6 | (株)ATR ヤマト<br>代表取締役 吉田 宗玄    | 燕市   | 日本製小型航空機 (LSA) の開発・製造・輸出販売プロジェクト                           | 2年度目 |
| 7 | (株)リアル<br>代表取締役 関 智征         | 新潟市  | Web 上の擬似仮想空間“セカンドライフ”の参入・構築・運営支援事業                         | 2年度目 |
| 8 | (株)プレス・ユー<br>代表取締役 宇野 可奈子    | 新潟市  | 薬の2次情報の作成とデータベースシステムの販売<br>医薬品の添付情報や、医薬品の組み合わせに関する情報などの提供。 | 3年度目 |
| 9 | (有)イーポート<br>代表取締役 塚本 智春      | 新潟市  | インターネット専門の広告代理店<br>ターゲティングに優れた広告媒体であるインターネットに特化した広告代理業。    | 3年度目 |

#### ②創業セミナー等開催事業

創業を促進する意識啓発のセミナーや起業を目指す者を対象として実践講座を開催した。

○創業セミナーの開催（平成 20 年 9 月 12 日、参加者 54 名）

○創業講座の開催

- ・ 起業応援セミナー in ながおか（3 回コースを 2 クール、参加者計 19 名）
- ・ 起業家経営塾 in 新潟（平成 20 年 9 月 17 日～10 月 15 日までの全 3 回、参加者計 9 名）
- ・ 上越創業塾（平成 20 年 10 月 4 日～12 月 13 日までの全 11 回、参加者計 12 名）

#### ③ゆめ・わざ・ものづくり支援事業

##### ア ゆめづくり支援事業

独自の技術やアイデアを新たな事業展開に結び付けるための準備に要する経費の一部を助成した。

|   | 採択企業名       | 所在地  | テーマ   |
|---|-------------|------|---|
| 1 | 板垣金属㈱       | 三条市  | 金属薄板にレーザー光により 10 $\mu$ m以下の微細な貫通孔を高開口率に形成する加工技術についての・・・ |
| 2 | 妙高雪国水産㈱     | 妙高市  | 妙高ゆきエビの脱皮殻の機能性食品への活用                                    |
| 3 | ㈱南沢テキスタイル   | 五泉市  | 植物染料を使った高品質ニットウェアの開発                                    |
| 4 | (有)高橋建具製作所  | 新発田市 | 燻熱処理をした杉を使った製品のシリーズ化                                    |
| 5 | 新潟県佐渡海洋深層水㈱ | 佐渡市  | 熱中症予防として飲用できる佐渡海洋深層水を使ったミネラルウォーター（清涼飲料水）の開発             |

## イ 新連携ゆめづくり支援事業

異分野の中小企業等がお互いの経営資源を持ち寄り、新商品・新技術・新サービスの事業化を図るための連携体の構築に係る経費の一部を助成した。

|   | 採択企業名     | 所在地 | テーマ                             |
|---|-----------|-----|---------------------------------|
| 1 | ㈱和広       | 新潟市 | 伝統技術である十日町友禅染めをジーンズに応用した製品の事業化  |
| 2 | カネコ総業㈱    | 三条市 | エコを重視した、地域産業共同開発による、県央地場ブランドの製造 |
| 3 | ㈱はあとふるあたご | 新潟市 | アロマセラピーを応用した「やすらぎ用具」「やすらぎ寝具」の開発 |

## ウ わざづくり支援事業

新規性が高い技術等の研究開発事業に要する経費の一部を助成した。

|    | 採択企業名               | 所在地  | テーマ  |
|----|---------------------|------|--|
| 1  | 土田緑地環境技術研究所         | 三条市  | バックボウを使った生芝（野芝・高麗芝）の塗布工法                   |
| 2  | ケイセイ医科工業㈱           | 燕市   | ポータブル式電動ダーマトームの開発                          |
| 3  | 新デンシ㈱               | 小千谷市 | 小型インダクタの開発                                 |
| 4  | 佐渡精密㈱               | 佐渡市  | 小型ペット用骨盤骨折及び前後肢骨折部固定装置の開発                  |
| 5  | ㈱オオハシ               | 新発田市 | 緩衝ユニット方式による低コスト高落石エネルギー吸収型落石防護網工法の開発       |
| 6  | ㈱大濤興産               | 見附市  | ナノ顔料による環境配慮型繊維染色技術開発                       |
| 7  | 越後商事㈱               | 長岡市  | オイルエマルジョンの分離システムの開発                        |
| 8  | ㈱やま電                | 燕市   | 従来のテーブル式スポット溶接機の常識を覆す作業者重視、新発想のテーブル式溶接機の開発 |
| 9  | ㈱悠心                 | 三条市  | フィルム弁量産技術の開発                               |
| 10 | ウエタックス㈱             | 上越市  | 競泳用教育システムの開発                               |
| 11 | ㈱ハニーインターナショナルワープ事業部 | 見附市  | 防汚ユニフォーム用素材の開発                             |
| 12 | オリエンタルエンジニアリング㈱     | 出雲崎町 | 世界初の雰囲気制御装置付き真空浸炭炉による自動車部品の量産技術開発          |

|    |                  |      |  |
|----|------------------|------|--|
| 13 | (株)アイシン          | 上越市  | 建設汚泥再資源化商品“ユニ・ソイル”の多目的利用研究及び、拡販・コンサルティング業務推進 |
| 14 | エス・ワールド(株)       | 佐渡市  | ナマコ・アワビを育成する藻場造成ブロック（地場海藻再生タイプ）の開発・検証        |
| 15 | (株)エアフォートサービズ    | 妙高市  | 無人自動自律機能を持つ特殊飛行機による各種情報収集システムの開発             |
| 16 | ミツワ興業(株)         | 長岡市  | 加圧熱水（亜臨界水）抽出技術による花びら茸由来高機能物質の製造              |
| 17 | 雪国科学(株)          | 新潟市  | 赤外線反射構造の活用による住宅の環境負荷低減に関する研究開発               |
| 18 | セイデンテクノ(株)       | 佐渡市  | 同一定格電力でサイズが従来比 70～80%の電流検出用抵抗器の開発及び製造技術の確立   |
| 19 | (株)プロテックエンジニアリング | 聖籠町  | 既存の落石防護柵を改良した高エネルギー吸収ネットの開発                  |
| 20 | (株)東京島津          | 長岡市  | 生産性向上や省エネ及び品質向上を目的としたプレヒートシステム装置の研究開発        |
| 21 | マコー(株)           | 長岡市  | アルミナ研磨材再生システムの開発                             |
| 22 | (株)中野科学          | 燕市   | セルフクリーニング機能付与の可視光～近赤外光の高反射板の開発               |
| 23 | (株)ファンタジスタ       | 新潟市  | オリジナル電子書籍閲覧ソフト「M i xペーパー」のASPサービス            |
| 24 | 第一合織(株)          | 見附市  | モノフィラメントを使った医療用高密度織物の開発                      |
| 25 | (株)渋谷建設          | 糸魚川市 | 省エネわさび栽培とわさびプラント販売                           |

## エ スーパーわざづくり支援事業

公設試験研究機関等との連携で、新規性の高い高度な技術開発事業に取り組む企業に対して、その経費の一部を助成した。

|   | 採択企業名      | 所在地 | テーマ     |
|---|------------|-----|---------|
| 1 | ウエノテックス(株) | 上越市 | 重粉碎機の開発 |

## オ かんばんづくり支援事業

地域や企業の看板となる事業の構築のために行う商品企画から商品開発、販売プロモーションまでの一貫した経営革新事業に要する経費の一部を助成した。

|   | 採択企業名          | 所在地 | テーマ                                   |
|---|----------------|-----|---------------------------------------|
| 1 | (株)自然芋そば       | 上越市 | 地域特産物への活用を目指した上越産高アミロース米原料とする米粉製品の実用化 |
| 2 | (株)新潟県厚生事業協同公社 | 長岡市 | 高圧、加熱処理（レトルト）を利用したリネン類の完全滅菌技術の商品化     |
| 3 | (株)イトラスト       | 長岡市 | 災害時には安否確認メールシステムとして利用できる行き先掲示板の開発     |

## カ ものづくり支援助成事業

独自の技術やアイデアなどで、新規性の高い画期的商品の開発（試作）に要する経費の一部を助成した。

|    | 採択企業名         | 所在地  | テーマ                                |
|----|---------------|------|------------------------------------|
| 1  | (株)サトミ産業      | 長岡市  | 科学的根拠に基づく安全性能を有するブランコの開発           |
| 2  | (株)エステーリンク    | 燕市   | 動物体重計付き診察台                         |
| 3  | (株)第一測範製作所    | 小千谷市 | 液体塗料・インキの顔料(個体粒子)分散自動検査装置の開発       |
| 4  | (有)グローバル      | 新発田市 | 有機ELを使用した防犯用品の開発                   |
| 5  | フジコーポレーション(株) | 燕市   | フジイ・アグリニクス草刈機の開発                   |
| 6  | 第四電設(株)       | 長岡市  | 次世代型LED電球の研究開発                     |
| 7  | (株)イシモク       | 加茂市  | 桐製のホームシアターの開発                      |
| 8  | (株)ナカヤ        | 三条市  | 自己吸引式集じんカバーの開発                     |
| 9  | (有)ネオ昭和       | 十日町市 | 「十日町からむし」ブランド確立のための機械化による糸づくり      |
| 10 | (株)南雲織物工場     | 南魚沼市 | 団塊世代の夫婦をターゲットとした新商品開発              |
| 11 | (株)北雪酒造       | 村上市  | 米焼酎の樽貯蔵による付加価値商品の開発                |
| 12 | (株)ネオス        | 長岡市  | 三層紙オリジナルデザイン透かし和紙を使用したインテリア関連商品の開発 |

#### ④経営革新支援事業

中小企業者が行う新たな取組による経営の向上を支援するため、県からの受託により、現地調査等を含めた計画作成支援のほか、審査会の運営及びフォローアップを実施した。

○経営革新計画承認件数 76 件

○承認起業のフォローアップ実施件数 36 件

#### ⑤IT経営応援隊事業

県内中小企業の競争力強化を目指し、関係機関やITコーディネーター等の専門家、中小企業団体及び金融機関などが連携し「新潟IT経営応援隊」を組織して、以下の中小企業のCIO育成や戦略的なIT投資計画策定に関するセミナー・研修会を開催し、県内企業の経営革新のためのIT活用を促進した。

○IT経営実態調査の実施 県内企業 1,000 社

○IT経営研修会

・経営者向け研修会 (3回、参加者 32社 33名)

○個別支援事業

・個別ガイドランス (ハンズオン支援に向けた事前ヒアリング等 20社)

・ハンズオン支援 (経営戦略企画書及びIT経営企画書の作成支援 12社)

○セミナー事業

・普及啓発セミナーの開催 (2回、参加者 103社 150名)

・タイアップセミナーの開催 (4回、参加者 95社 114名)

・ワークショップ (成果報告会) の開催 (1回、参加者 39社 48名)

## ⑥建設企業新分野進出等支援事業

建設企業が新分野に進出するために取り組む調査事業や技術開発、製品開発事業に必要な経費の一部を助成した。

|   | 採択企業名    | 所在地 | テーマ                            |
|---|----------|-----|--------------------------------|
| 1 | (株)野本組   | 妙高市 | 妙高の大葉を食品原料とした大葉ペースト製品の開発       |
| 2 | (株)ゼンリツ  | 新潟市 | お客様ニーズに応える無人搬送車の開発と販売          |
| 3 | 長陵石産(株)  | 長岡市 | 地域ブランド野菜栽培による農業分野への進出          |
| 4 | (株)品田電業社 | 柏崎市 | 農業分野進出及び農産物を活用した地域ブランド商品の開発・販売 |
| 5 | (株)アルゴス  | 妙高市 | 地場産ドジョウを原材料とした加工食品等の製造及び販売     |
| 6 | (株)オリス   | 新潟市 | 放置自転車対策支援システム                  |

## ⑦外部人材による新ビジネス展開支援事業

マーケティング能力・マネジメント能力等を有する外部人材を活用し、新事業展開・新分野進出に取り組む中小企業者に対して、その人件費の一部を助成することにより、マーケットを重視した商品開発・販路開拓を支援した。

### ○付加価値創造重視枠

|   | 助成企業名            | 所在地 | テーマ                                     |
|---|------------------|-----|---|
| 1 | 丸正ニットファクトリー(株)   | 見附市 | 海外生産によるニット製品の販路拡大と海外生産品の品質検査及びリサイクル加工事業 |
| 2 | (株)プロテックエンジニアリング | 聖籠町 | 斜面防災商品の森林保全事業への展開                       |

### ○総合評価枠

|   | 助成企業名                  | 所在地  | テーマ                              |
|---|------------------------|------|----------------------------------|
| 1 | (株)グリーンエナジー            | 十日町市 | 紙おむつ専用焼却炉・処理サービスの事業化             |
| 2 | (株)日本フードリンク            | 新潟市  | 高齢者向けケータリングサービス事業の構築             |
| 3 | (株)八海山                 | 南魚沼市 | 日本酒市場における八海山の事業継続                |
| 4 | 岡田土建工業(株)              | 妙高市  | 自然調和環境土木工事システム                   |
| 5 | (株)ジャパン・ベースボール・マーケティング | 新潟市  | 独立リーグの拡充                         |
| 6 | 酒井メリヤス(株)              | 見附市  | 新販路開拓及び自社商品企画のための人材育成事業          |
| 7 | 山崎金属工業(株)              | 燕市   | 日本食関連新商品の開発による販路開拓               |
| 8 | (株)アイ・シー・オー            | 新潟市  | 戦略的教育・商品広報及びブランド構築のためのコンサルティング事業 |
| 9 | まつや(株)                 | 新潟市  | 米加工のノウハウを時代のニーズに反映させた新規商品開発と拡販   |

### ・採択企業のフォローアップ

事業計画の実現可能性を高めるため、中間報告会を実施し、事業の進捗状況や目標の達成度合いなどについての報告を踏まえ、アドバイスを実施した。

## (2) 市場開拓支援

新商品開発、新事業展開における企画・開発から販売までの各段階に応じて、必要な支援を提供し、「売れる商品づくり」及び「売れる食品づくり」を目指したマーケティング活動を総合的に支援した。

### ① 生活関連産業マーケティング支援事業

#### ア 企画・開発支援

##### ○市場トレンドワークショップ

- ・キックオフセミナー開催（平成20年9月4日、参加者70名）

最新の市場動向やトレンド情報を提供し、生活者視点に立った商品開発に対する意識付けを行った。

- ・ワークショップの開催（全4回、9社参加）

#### イ 商品づくり支援

##### ○商品開発、流通開発ラボ

デザイナー等専門家の協力のもと、商品企画・開発、デザイン開発のための指導を実施した。

- ・4回開催：指導企業数 34社（生活関連9社、食品関係25社）

##### ○にいがたIDSデザインコンペティション2009

提案性の高いオリジナリティのある作品を募集し、優秀な作品を表彰する。各分野の専門家が審査・助言することにより、魅力ある商品・システムづくりを支援するとともに、流通業界や生活者に向けてアピールした。

募集テーマ：「生活ブランドの確立（Mono & System）をめざして」

- ・一般公開 平成21年1月23日～25日
- ・会場 新潟県県央地域地場産業振興センター、一般来場者数 945人
- ・出品企業数 43社（出品数54点）
- ・審査委員長 豊口 協（長岡造形大学理事長）
- ・受賞作品等

##### IDS 大賞

食品の異物検査、自動選別システム（X線異物検査機）

（株）システムスクエア（長岡市）

##### IDS 準大賞

ネイルニッパー・ダマスカスレイヤード

（株）諏訪田製作所（三条市）

##### IDS 賞（MONO 部門）

苔の種：苔神工房（新潟市）

切れ丸鋸 園芸セット：広野産業（株）／新潟鋸工業（三条市）

ハイブリッド式集塵アダプター「TORNADO」：（株）ナカヤ（三条市）

ねんねくん：安達紙器工業（株）（長岡市）

## IDS 審査委員賞

竹内式ハイレグ曲線包丁研ぎ器：(有)竹内快速鋸（三条市）

TIME VOYAGER：安達紙器工業(株)（長岡市）

多方面桐キューブ BOX：(有)石附工芸

スピードハンドル ボールポイントレンチ：(株)兼古製作所（三条市）

膝用サポーター：アルテライン（五泉市）

曲木 眼鏡ケース：足立茂久商店 足立一久（長岡市）

グローバル EL ウェアシリーズ：(有)グローバル（新発田市）

レスキューフーズ：ホリカフーズ(株)／長岡造形大学

IDS 特別賞 プリンズ工業(株)（三条市）

## ② 食品産業マーケティング支援事業

### ア MD（マーチャндаイジング）支援事業

食品の流通に関する専門家をプロジェクトマネージャーとして配置し、県産加工食品の首都圏販路開拓を総合的に支援した。

### イ 売れる食品づくり支援

○食品開発セミナーの開催（平成 20 年 6 月 4 日、参加者数 122 名）

○売れる食品づくりサポート会議の開催（全 4 回、参加企業数 50 社 支援対象決定 42 社）

○消費者モニタリング（平成 20 年 11 月、参加企業 5 社 12 品目、モニター 6 名）

### ウ 市場開拓支援事業

○新潟食楽園テスト販売 平成 20 年 8 月から毎月実施 19 社 41 品目

○日本橋 NICO プラザ食品イベント 年 5 回開催

○ネスパスチャレンジ販売 年 8 回開催

○流通向け商談会の実施（平成 20 年 10 月 23 日、24 日 参加企業数 42 名）

○こだわり食品フェア 2008（スーパーマーケット・トレードショーと併催）

開催期間：平成 21 年 2 月 11 日～ 13 日（東京ビッグサイト）

出展企業数 25 社、来場者数約 78,500 人

商談件数 273 件（予定件数を含む。）

## ③ 新技術提案型展示会出展事業

○機械要素技術展

開催期間：平成 20 年 6 月 25 日～27 日（東京ビッグサイト）

出展企業 24 社（18 小間）、来場者数 87,679 名

商談件数 53 件、成約件数 1 件 2,100 千円（開催期間中）

○ネブコンワールド・ジャパン（インターネットネブコンジャパン&国際電子部品商談会）

開催期間：平成 21 年 1 月 28 日～30 日（東京ビッグサイト）

出展企業数 15 社 (12 小間)、来場者数 60,271 人  
商談件数 117 件、成約件数 0 件 - 千円 (開催期間中)

○本田技研「にいがた新技術・新工法展示商談会」

開催期間：平成 20 年 11 月 19 日 (栃木県芳賀郡芳賀町)

出展企業数 53 社、来場者数 726 人

商談件数 81 件、成約件数 1 件 250 千円 (開催期間中)

#### ④ 新市場創出型マーケティング支援事業

開催期間：平成 20 年 10 月 8 日～10 日 (東京ビッグサイト)

出展企業数 10 社 (8 小間)、来場者数名 58,000 人

商談件数 37 件、成約件数 17 件 9,899 千円 (平成 21 年 3 月末現在)

#### ⑤ 首都圏販路開拓支援事業

「食」を中心とした情報の発信基地である表参道・新潟館ネスパスの物販機能やイベントスペース、日本橋・にいがた館 NICO プラザ# 2 の展示交流スペースを活用して、県産品の販路拡大を支援した。

また、首都圏ビジネスの活動拠点としてオープンオフィスを提供し、県内企業の首都圏展開を支援した。

#### ア 首都圏情報発信事業

ネスパスニュース、メールマガジンの定期発行や各種媒体を通じて新潟の魅力と食情報を発信し、新潟のイメージアップに努めたほか、首都圏の消費者動向を県内生産者にフィードバックした。

また、県産品販売・飲食提供事業運営委員会を 2 回開催し、同委員会が出された意見等を踏まえ、物販・飲食提供サービスの向上に努めた。

○各種イベントの実施 (イベントスペースの活用)

・56 回、約 125 団体・業者が参加したイベントを開催

○ネスパスニュース：隔月発行 (毎回 20,000 部)

○メールマガジン：月 2 回配信 (購読者数約 6,400 人)

○販売等の状況 (年間)

物産販売額 314,856 千円

飲食販売額 84,803 千円 合計 399,659 千円

入館者数 914,158 人 (対前年同期比 100.6%)

#### イ 日本橋NICOプラザ運営事業

日本橋・にいがた館 NICO プラザ# 2 を運営し、首都圏での県内企業の活動拠点として活用した。

・オープンオフィスの運営

長期ブース（レンタルオフィス）8社入居（入居率100%）

・展示交流スペースの運営

利用日数319日（稼働率97.0%）、利用件数70件、入場者数 延べ153,300人

・NICO自主イベント開催（7回）：

「百年物語」2008年モデル発表会、新潟SUMMERフェスタ、にいがた防災セレクション、にいがたライスフェア、にいがた秋のフェスタ、にいがた冬の陣、新潟うまいもの

⑥ 物産展開催事業

全国各地及び県内の百貨店及び総合スーパーマーケットでの「新潟物産展」開催を通じて、県産品の一層の販路拡大を支援した。

- ・県外物産展（百貨店）：55会場（うち15会場は新規）、売上額約1,046百万円
- ・県内物産展（百貨店）：1会場、売上額約23百万円
- ・県内外物産展（総合スーパー）：3回開催、延べ47会場、売上額約87百万円

⑦ 国際展開総合支援事業

海外見本市での出展支援やブースの設置、海外コンサルタントの活用等により、県内企業の国際ビジネス展開を総合的に支援した。

ア 海外見本市出展支援

○海外見本市

- ・台湾ギフト・文具見本市（春展）（台湾・ギフト）平成20年4月23日～26日  
出展企業10社、商談数124件、商談成立10件 610千円（開催期間中。以下同じ。）
- ・ハルビン国際経済貿易商談会（中国・全商品）平成20年6月15日～19日  
出展企業24社、商談数679件、商談成立10件 13,000千円
- ・フード台北2008（台湾・食品）平成20年6月18日～21日  
出展企業8社・団体、商談数165件、商談成立2件 900千円
- ・ソウルフードウィーク（韓国・食品）平成20年11月20日～23日  
出展企業5社・団体、商談数82件、商談成立5件 950千円
- ・台湾ギフト・文具見本市（秋展）（台湾・ギフト）平成20年10月23日～26日  
出展企業14社、商談数250件、商談成立8件 4,360千円
- ・上海華東交易会（中国・消費財）平成21年3月1日～5日  
出展企業19社・団体、商談数269件、商談成立28件 16,710千円

○海外見本市等出展事業助成金

企業・団体が自ら出展・主催する海外見本市・商談会に対して助成を行った。  
助成件数：11社12件

○海外事務所運営

新潟県ソウル事務所、新潟県大連経済事務所を運営し、県内企業の国際ビジネス展開を支援した。

イ 県産品の海外販路拡大

○海外物産展

- ・タイ王国バンコク・新潟物産展 平成 20 年 10 月 30 日～ 11 月 11 日  
参加 21 社（うち出品のみ 7 社） 商談成立 8 件 2,770 千円（H20.12 月末）
- ・台湾高雄・新潟物産展 平成 20 年 12 月 4 日～ 12 月 15 日  
参加 35 社（うち出品のみ 10 社） 商談成立 14 件 16,160 千円（H21.1 月末）

ウ コンサルティングやコーディネーター

○上海ビジネスコンサルティングサービス（H21 から「中国ビジネスコンサルティングサービス」に名称変更）

上海のコンサルタント会社との委託契約により、県内企業の要望に応じた調査を行い、その費用の半額を助成した。

調査件数：5 件

○海外ビジネスコーディネーター設置

中国のハルビン、瀋陽、大連、北京、青島、上海、香港及び台湾の台北、韓国といったアジアの主要都市に、現地人等のコーディネーターを計 21 名配置し、支援体制を構築した結果、県内企業・団体の依頼に基づき、13 件の海外ビジネス支援を実施した。

エ 貿易実務講座

初級講座（新潟、柏崎、各 2 日間） 参加者延べ 95 名

中・上級講座（三条 4 日間） 参加者延べ 140 名

(3) 経営改善支援

中小企業が経済社会環境の変化などに対応し、その企業活動を継続・拡大するために必要となる経営資源の補完や、経営基盤の着実な強化のための支援を行った。

①設備貸与・設備資金貸付事業

ア. 設備貸与事業

小規模企業の生産性の向上等、経営基盤強化を支援するため、長期かつ低利な割賦販売・リースを行った。

○申込・決定状況

（金額単位：千円）

| 制度枠 | 事業額<br>(A) | 申 込 状 況 |         |            | 決 定 状 況 |         |            |            |
|-----|------------|---------|---------|------------|---------|---------|------------|------------|
|     |            | 件数      | 金額      | 対前年<br>比率% | 件数      | 金額(B)   | 比率%<br>B/A | 対前年<br>比率% |
| 割 賦 | 200,000    | 16      | 193,460 | 82.5       | 14      | 176,555 | 88.3       | 174.3      |

|     |         |    |         |      |    |         |      |       |
|-----|---------|----|---------|------|----|---------|------|-------|
| リース | 200,000 | 17 | 174,550 | 70.2 | 10 | 96,330  | 48.2 | 88.1  |
| 合計  | 400,000 | 33 | 368,010 | 97.0 | 24 | 272,855 | 71.1 | 135.0 |

○業種別申込・決定状況

(金額単位：千円)

| 業種名    | 申込状況 |         |      | 決定状況 |         |      |
|--------|------|---------|------|------|---------|------|
|        | 件数   | 金額      | 比率%  | 件数   | 金額      | 比率%  |
| 建設業    | 1    | 32,067  | 8.7  | 1    | 32,067  | 11.8 |
| 製造業    | 26   | 288,207 | 78.3 | 20   | 204,496 | 74.9 |
| 小売・卸売業 | 2    | 8,999   | 2.4  | 0    | 0       | 0    |
| サービス業  | 4    | 38,737  | 10.6 | 3    | 36,322  | 13.3 |
| その他    | 0    | 0       | 0    | 0    | 0       | 0    |
| 合計     | 33   | 368,010 | 100  | 24   | 272,855 | 100  |

イ. 設備資金貸付事業

小規模企業の生産性向上等、経営基盤強化を支援するため、設備の導入に際して無利子貸付を行った。

○申込・決定状況

(金額単位：千円)

| 事業額(A)  | 申込状況 |         |        | 決定状況 |         |        |        |
|---------|------|---------|--------|------|---------|--------|--------|
|         | 件数   | 金額      | 対前年比率% | 件数   | 金額(B)   | 比率B/A% | 対前年比率% |
| 500,000 | 28   | 280,137 | 39.1   | 25   | 245,627 | 87.7   | 40.0   |

○業種別申込・決定状況

(金額単位：千円)

| 業種名    | 申込状況 |         |      | 決定状況 |         |      |
|--------|------|---------|------|------|---------|------|
|        | 件数   | 金額      | 比率%  | 件数   | 金額      | 比率%  |
| 建設業    | 6    | 31,690  | 11.3 | 5    | 29,490  | 12.0 |
| 製造業    | 19   | 218,007 | 39.3 | 17   | 188,777 | 76.9 |
| 小売・卸売業 | 0    | 0       | 0    | 0    | 0       | 0    |
| サービス業  | 3    | 30,440  | 60.4 | 3    | 27,360  | 11.1 |
| その他    | 0    | 0       | 0    | 0    | 0       | 0    |
| 合計     | 28   | 280,137 | 100  | 25   | 245,627 | 100  |

ウ. 県単設備貸与事業

平成14年度までに設備の貸与を受けた企業に対して、貸与した設備の稼働状況及び債権管理等を目的とした事後指導を実施した。

巡回企業数 10社

②取引連携推進事業

ア. 取引の紹介・斡旋や苦情処理

・下請取引に関する相談件数 616件

・取引成立件数 103 件、取引成立金額 293,294 千円

**イ. 下請取引に関する苦情・紛争の処理**

・下請代金法に基づいた問題解決を図るための個別対応を実施 39 件（相談のみ）

**ウ. 受発注に関する情報の収集・公表**

- ・県内生産動向調査の実施（平成 20 年 8 月調査、10 月公表）
- ・県外生産動向調査の実施（平成 20 年 12 月調査、平成 21 年 2 月公表）

**エ ビジネスマッチング事業**

（財）東京都中小企業振興公社と連携し、県内中小企業 9 社の技術・製品等について首都圏企業等に対するマッチング活動を実施した。

巡回企業数 87 社 取引成立 2 件 成立金額 513 千円

**③工業・商業経営改善支援事業**

**ア. 工業・商業診断助言に係る県からの受託事業の実施**

商店街や共同店舗組合が行う高度化事業に対する診断を 6 件行った。

また、工業団地組合などが行う高度化事業に対する診断・助言を 7 件行った。

**イ. 中心市街地商業活性化事業**

中心市街地活性化基金の運用益に県補助金を加えた額を財源に、タウンマネージメント機関（TMO）が行うソフト事業に対して経費の一部を助成した。

・助成先：新潟商工会議所 3 件

**（４）企業再生支援（中小企業再生支援協議会事業）**

企業再生に意欲を持つ中小企業者に対して、経営上の相談に応じ、課題解決に向けた適切なアドバイスを行ったほか、事業の見直しや金融機関との調整などによって再生の可能性がある場合に、事業再生計画の策定支援などを行った。

- ・事業再生計画の策定支援完了件数 5 件（このほか策定中の件数 2 件）
- ・経営相談件数 149 件（新規相談企業 59 社）

このほか、協議会事業説明会や相談会及び企業向けの経営革新セミナーを開催した。

- ・協議会事業説明会及び個別相談会の開催（金融機関・関係機関向け）

8 回開催 参加者数計 延べ 165 名

- ・企業再生・経営革新セミナー（専門家・機関向け 事業デューデリジェンス編）

開催日：平成 20 年 9 月 27 日 参加者数計 84 名

- ・企業再生・経営革新セミナー（ホテル・旅館・サービス業向け 顧客満足度向上編）

開催日：平成 20 年 10 月 25 日 参加者数計 318 名

### 3 次代をリードする産業群の創出

#### (1) 産学連携の促進

大学と企業のマッチングやコンソーシアムの形成、大学からの技術移転の促進など、産学連携をトータルに推進し、県内企業の技術の高度化を支援しながら、新事業創出のための基盤づくりに取り組んだ。

##### ①産学研究等促進事業

○産学連携委員会の開催（平成 21 年 3 月 7 日）

議題：産学連携主要事業等、研究開発関連事業等、次年度事業計画等

○産学交流研究会

研究会・交流会の参加者は年間実績で 1,517 人を数えた。

・研究会：

先進的金型研究会、にいがたナノテク研究会、DME 研究会、摂食・嚥下サポート研究会、新潟県医療・健康産業創造協議会、地域結集プログラム関係会議 等

○産学連携コーディネート（コンソーシアム型研究促進）

企業・大学等へ訪問し、産学間のコーディネートを行った。

このうち、NICO が関わった産学連携による競争的資金の新規採択は 7 件（申請件数は 9 件）となった。

また、NICO が管理法人等となる産学連携の競争的資金は 11 件、全体契約金額は約 7 億 5 千万円となった。

| 事業名                                   | テーマ                                    | 事業年度  |
|---------------------------------------|--|-------|
| 都市エリア産学官連携促進（発展型）事業（文部科学省）            | マグネシウム合金の次世代型製品開発                      | 19～21 |
| 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）                 | 大型角筒形状の高精度温間プレス成形技術の開発                 | 19～21 |
|                                       | 全固体蓄電部品の開発                             | 19～21 |
| 地域資源活用型研究開発事業（経済産業省）                  | 越後杉の炭素化物研磨剤による次世代プリント基板研磨技術の開発         | 19～20 |
| 地域イノベーション創出研究開発事業（経済産業省）              | 植物性乳酸菌を含有する機能性米の開発                     | 20～21 |
| 食品産業技術海外展開実証事業（農林水産省）                 | 高圧処理を利用した東アジア産穀物の機能性食品開発               | 19～20 |
| 地域結集型研究開発プログラム（独立行政法人科学技術振興機構）        | 食の高付加価値化に資する基盤技術の開発                    | 19～24 |
| 東京電力受託事業                              | 誘導加熱用鍋釜の軽量化に関する要素技術開発                  | 19～20 |
| 高等専門学校を活用した中小企業人材育成事業（経済産業省）          | 3次元CAEエンジニア育成プロジェクト                    | 20    |
| 中小企業経営革新基盤整備（経済産業省）                   | 「新潟IT経営応援隊」としての各種事業                    | 20    |
| 低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業（経済産業省） | 新潟の自然と風土を活かした分散電源ネットワークと電気自動車コミュニティの構築 | 20～21 |

## ② 大学発シーズプレゼンテーション事業

- ・ 2008 技術シーズプレゼンテーション in 柏崎  
開催日：平成 20 年 8 月 27 日、参加者数：146 人
- ・ 大学発シーズプレゼンテーション in 新潟国際ビジネスメッセ 2008  
開催日：平成 20 年 11 月 6 日～7 日、参加者数 248 人

## ③ 戦略的基盤技術高度化支援事業

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術の向上に資する革新的かつハイリスクな研究開発を進めた。

### ア 大型角筒形状の高精度温間プレス成形技術の開発

電気自動車等に用いられる大型リチウム二次電池のケースとして用いられるステンレス製大型角筒容器の量産を実現するために、温間絞り加工技術を基盤としたトランスファー温間絞り・しごき加工による省エネルギー型一貫製造加工プロセスの開発を進めた。

- ・ 要素技術開発
- ・ 金型、潤滑剤塗付の開発
- ・ 連続工程化技術の開発
- ・ 潤滑剤の開発
- ・ 試作品、成型試験

### イ 全固体蓄電部品の開発

電子情報機器の小型化、軽量化に対応するため最先端セラミック積層技術を用いた全固体リチウムイオン二次電池の開発を進めた。

- ・ 全固体電池の試作、単一セルで性能評価を実施
- ・ 半自動電極印刷積層機を製作し、積層化による電池の高容量化・高性能化試験を実施
- ・ 実用化に向けた環境試験を実施
- ・ 全固体電池の積層と構造に関する特許を 2 件出願

## ④ 地域資源活用型研究開発事業

地域における新産業・新事業を創出し地域経済の活性化を図るため、地域資源を活用した新製品開発を目指す実用化技術の研究開発を実施した。

### ア 越後杉の炭素化物研磨剤による次世代プリント基板研磨技術の開発

新潟の杉の建築端材や間伐材を炭化して得られた炭素化物を使った研磨剤を用いて、次世代プリント基板の高精度研磨技術の開発に取り組んだ。

- ・ 研磨材料としての特性評価
- ・ 実用化研磨技術の検討
- ・ 研磨試験装置の改良

## ⑤ 地域イノベーション創出研究開発事業

米の需要拡大に寄与する抗アレルギー機能性米の研究開発を目的として、植物性乳酸菌を含有する機能性米の製造・開発に取り組んだ。

<平成20年度 of 取組>

- ・コーティング米製造技術の確立
- ・発酵米製造技術の確立
- ・ヒト効果試験
- ・抗アレルギーメカニズムの解明

## ⑥ 市場開拓技術構築事業

県内産業の市場競争力向上による活性化を目的として、マーケットや業界の将来動向を見据えて取り組む新たな市場開拓プロジェクトに対して助成した。

### ○チタン合金革新的加工技術創出事業

航空機産業に参入するためのコア技術となるチタン合金の複雑形状品の革新的新加工技術を開発すると共に、品質管理体制の整備、マーケティング支援、コンソーシアム形成などの事業に取り組んだ。

<平成20年度 of 取組>

高速切削加工技術の事業体制づくりを推進した。

- ・先端5軸加工機システムの導入
- ・高速切削のための加工技術開発
- ・自動干渉回避シミュレーターの開発

## ⑦ ナノテク研究センター運営事業

超精密・微細加工技術に関連した研究開発機器設備を、企業・大学・公設研究機関等の研究開発に活用し、ナノテク分野の研究開発とそれらを応用した高付加価値製品の開発を支援した。中でも「ナノ加工機」は、ほぼフル稼働の状態であった。

利用状況：企業等利用 60 件（262 時間）、大学・研究機関等利用 505 件（3,332 時間）

## (2) 健康・福祉・医療関連ビジネスの創出

健康・福祉・医療関連ビジネスに関する県内企業の研究開発や産学連携、異業種連携などの発掘・育成、コーディネート活動等を通じて、事業連携や実用化研究等を促進した。

### ○医療・健康産業セミナーの開催

地域における医療・健康関連産業の創出を目的として、健康ビジネスサミット「うおぬま会議」の個別会議として、医療・健康産業に参入する企業が直面する課題解決に向けた「医療・健康産業セミナー」を開催した。

（平成20年11月14日開催 参加者70名）

#### ○競争的資金事業応募等へのコーディネート活動等

医療・健康等に関する国等の競争的研究資金への応募に際して、事業提案や申請書の作成支援、事業実施のための研究会・事務局等の担当など、健康・医療関連ビジネスの創出のための裾野の拡大に努めた。

### (3) 超高压技術を活用した地域産業の創出

超高压処理技術の活用は食品分野などで期待されており、この技術を地域産業の発展に結び付けるため、産学官のネットワークのもと、先端的な超高压技術の研究開発に取り組んだ。

#### ○新潟県地域結集型研究開発プログラム

「食の高付加価値化に資する基盤技術の開発」をテーマに、高压処理による食品加工技術の開発と実用化に向けた軽量、低コストな高压装置の開発に向けて、5年間のJSTの受託研究事業が本格的に始動した。

##### ・研究開発テーマ

次世代型高压プロセスによる高機能・高付加価値食品の開発

高压を使用した物性変換技術の開発

高压に係わるシステム安全性確保技術の確立

##### <平成20年度の取組>

・共同研究体制の構築を図った。(大学等9機関、公設試験機関4機関、企業22社)

・論文発表10報(うち海外6報)、口頭発表28件(うち海外6件)、展示会4件出展、特許出願2件、他事業への展開:応募2件(うち1件採択)、実用化1件、商品化1件

### (4) マグネシウム合金関連産業群の創出

県内では既に先進的なマグネシウム加工技術が蓄積されており、これを活用してマグネシウム製品の新規市場参入を目指すため、関連企業等と連携してマグネシウム合金の量産システム構築や実用化のための加工技術の開発等に取り組んだ。

#### ○都市エリア産学官連携促進事業(発展型)

都市エリア産学官連携促進事業(一般型)で開発した高強度でプレス性の良いマグネシウム新合金を、車両や鉄道・航空機用の準構造材部品に活用することを狙いとして、展伸材量産システムの確立や各種加工技術の開発に取り組んだ。

##### ・研究開発の実施(大学等への再委託により次の4テーマを実施)

新マグネシウム展伸素材の量産システム技術構築(300mm幅コイル)

高耐食性を有する表面処理技術の開発

高効率機械的接合、異種材締結、精密切断技術の開発

複雑形状付与プレス技術の開発

- ・コーディネーターによる事業化コーディネート  
     科学技術コーディネーターと事業化戦略コーディネーターが大学・企業等を訪問し、  
     事業化に向けたコーディネートを行った。
- ・研究会・交流会等の実施  
     研究推進会議の実施：4回開催、表面処理分科会：1回開催  
     「新潟県マグネシウム事業化推進協議会」交流会の開催：2回  
     研究成果発表会の開催（平成21年3月12日）  
     評価委員会の開催（平成21年3月12日）

## （５）「百年物語」ブランドの構築

県内生活関連産業の高度な技術を駆使した良質で長く使用できる商品を意欲的な参加企業とのコラボレーションにより開発し、国内外展示会等への出展を通して販路開拓及び情報発信を行い、ブランド確立に取り組んだ。

### ①百年物語ブランド確立事業

#### ○商品開発

今年度の丑年モデル開発テーマを「男の生活時間」とし、参加企業16社によりビジネスタイムなどの時間軸でアイテムを抽出し、デザインマネージャー、流通マネージャー等の指導によるデザインミーティングを8回開催し、42アイテムの商品開発を行った。

#### ○百年物語 新商品発表会 in TOKYO（新潟ブランド「百年物語」確立事業費補助金）

国内に於いての市場と認知拡大を目指し、昨年度発表した新商品（子年モデル）を、首都圏の流通・メディア・各界の専門家及び一般生活者へ向けて発表した。

#### ○プロモーション活動

商品の流通開拓を効果的に進めることを目的に、ウェブサイトにおいて流通開拓に結び付ける情報（代理店、販売先等）の充実を図った。また、百貨店やデザインギャラリーにおいて展示会を実施した。

### ②海外展示会出展事業

#### ○出展概要

展示会名：アンビエンテ・メッセ フランクフルト 2009

会 期：平成21年2月13日～17日

商 談： 126件（会期中）

### ③生活関連産業展出展事業

#### ○出展概要1

展示会名：Interiorlifestyle2008

会 期：平成20年6月11日～13日

商 談： 55件（会期中）

○出展概要 2

展示会名：IFFT Interiorlifestyle living2008

会 期：平成 20 年 11 月 19 日～22 日

商 談： 32 件（会期中）

**(6) システム開発産業群の創出**

I T 産業クラスター形成促進プロジェクトを通じ育成された高度設計開発人材及び形成された産学官プラットフォームを活用し、I T 産業間連携や I T と製造技術の融合による県内産業の競争力強化を図り、上流工程のシステム開発受注を促進し、高付加価値なシステム開発産業群の創出を図った。

**① システム開発産業群創出プロジェクト**

○組込み総合技術展（ET2008）の開催（平成 20 年 11 月 19 日～21 日 パシフィコ横浜）

新潟ブース：6 社 6 団体出展、来訪者約 1,100 人、アンケート回収 307

○研究会開催

- ・ I T 産業 JointProject 研究会 4 回開催（延べ 48 社 52 名参加）
- ・ R u b y ビジネス研究会 3 回開催（延べ 51 社 77 名参加）
- ・ E T S S（組込みスキル標準）研究会 3 回開催（延べ 36 社 50 名参加）
- ・ R F I D システム研究会 2 回開催（延べ 30 社 39 名参加）

○セミナー開催

- ・ R u b y 勉強会@新潟（27 社 55 名参加）
- ・ I P A I T S S V3 セミナー（13 社 25 名参加）
- ・ 情報セキュリティセミナー  
基礎コース（58 社 83 名参加）、マネジメントコース（60 社 86 名参加）
- ・ I T S S セミナー（13 社 25 名参加）
- ・ I T 産業活性化セミナー（37 社 49 名参加）

○人材育成評価委員会 2 回開催

**② 受注拡大プロジェクト**

機械設計分野と組込みシステム分野の 2 名のコーディネータにより、県内企業の技術水準の把握と県外大手企業の発注情報、発注要件等を調査し、県内企業による新規受注獲得を図った。

- ・ 製造機械・装置分野コーディネータ：  
延べ訪問企業数 受注側 131 社、発注側 98 社、成約 20 件、194,020 千円
- ・ 組込みソフト分野コーディネータ：  
延べ訪問企業数 受注側 13 社、発注側 41 社、成約 1 件、22,350 千円